【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成23年12月8日(2011.12.8)

【公表番号】特表2011-509550(P2011-509550A)
【公表日】平成23年3月24日(2011.3.24)
【年通号数】公開・登録公報2011-012
【出願番号】特願2010-537480(P2010-537480)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｍ　11/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｗ　4/02　(2009.01)
Ｈ０４Ｗ　64/00　(2009.01)
Ｈ０４Ｍ　3/42　(2006.01)
Ｈ０４Ｍ　3/493　(2006.01)
Ｈ０４Ｍ　1/00　(2006.01)
Ｇ０８Ｇ　1/00　(2006.01)
Ｇ０８Ｇ　1/01　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｍ　11/00　３０１
Ｈ０４Ｑ　7/00　１０４
Ｈ０４Ｑ　7/00　５０２
Ｈ０４Ｍ　3/42　Ｕ
Ｈ０４Ｍ　3/493
Ｈ０４Ｍ　1/00　Ｖ
Ｇ０８Ｇ　1/00　Ｃ
Ｇ０８Ｇ　1/01　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成23年10月21日(2011.10.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも１つ以上のサーバ装置およびその位置が衛星により確認されるように調整された複数の遠隔端末を含み、該遠隔端末は、少なくとも、情報を前記サーバ装置に送信する手段（２８）を含む通信および位置追跡用設備において、前記遠隔端末における前記手段（２８）は、前記遠隔端末の位置に関する情報、および前記遠隔端末が収集するその他の情報を無線で前記サーバ装置へ送信するように備えられ、前記サーバ装置は、少なくとも、前記遠隔端末から到着する情報を受信する接続手段と、前記遠隔端末から到着する情報を記録するデータベースと、前記遠隔端末から送られた情報を処理する処理手段（１１～１６）と、また該通信および位置追跡用設備のさまざまな機能を調整および制御する制御システムとを備えていることを特徴とする通信および位置追跡用設備。
【請求項２】
請求項１に記載の設備において、前記遠隔端末は、少なくとも、プロセッサユニットと、処理手段（１９ａ）と、メモリと、複数のさまざまな入力／出力ポートを備えたコンピュータ装置であり、該コンピュータ装置は、衛星位置決定手段により受信された位置情報と、また必要であれば外部の測定センサで測定された測定情報とを前記メモリに記録する

手段、ならびに無線MESHネットワークと接続する手段（１８）を含むことを特徴とする設備。
【請求項３】
請求項１または２に記載の設備において、前記処理手段（１９ａ）は、前記遠隔端末の位置情報と、必要であれば前記測定センサを用いて前記遠隔端末に収集されたその他の外部の測定情報とを処理するように設けられていることを特徴とする設備。
【請求項４】
請求項１、２または３に記載の通信および位置追跡用設備において、前記遠隔端末は移動物体に携行されるように設けられた装置であり、該装置は位置情報および測定情報などの情報を受信する手段（２２～２４）を含むことを特徴とする設備。
【請求項５】
請求項１ないし４のいずれかに記載の設備において、前記遠隔端末は、車両に設置することができる装置であることを特徴とする設備。
【請求項６】
請求項１ないし５のいずれかに記載の設備において、前記制御システムは、少なくとも、前記遠隔端末から受信した位置情報を処理し、また前記位置情報に基づいて前記車両の交通渋滞情報を算出し、必要であれば交通渋滞が高まりすぎる恐れがある区域を迂回するように前記車両の経路を誘導する、算出手段（１１）を含むことを特徴とする設備。
【請求項７】
請求項１ないし６のいずれかに記載の設備において、前記遠隔端末に接続した前記測定センサは車両の自身の排気の影響を測定するように設けられ、前記処理手段（１９ａ）は前記測定された排気ガスの影響の情報を処理するように設けられていることを特徴とする設備。
【請求項８】
請求項１ないし７のいずれかに記載の設備において、前記サーバ装置は、前記遠隔端末から受信した前記車両の排気の影響の情報を処理し、区域ごとの総排気の影響を実質的にリアルタイムに算出し、また必要であれば排気の影響が高まりすぎる恐れがある区域を迂回するように前記車両の経路を誘導するように設けられた算出手段（１１）を含むことを特徴とする設備。
【請求項９】
請求項１ないし８のいずれかに記載の設備において、前記遠隔端末は、歩行者または車両などの移動物体の経路の所望の出発点および終点を、無線ネットワークを介して前記サーバ装置へと報告する手段（１８、２２、２６、２８）を含むことを特徴とする設備。
【請求項１０】
請求項１ないし９のいずれかに記載の設備において、前記サーバ装置は、遠隔端末から受信した位置情報に基づいて旅費手当請求を自動的に算出させる算出手段（１２）と、手当請求を所定の遠隔端末ごとに割り当てる割り当て手段（１５）とを含むことを特徴とする設備。
【請求項１１】
請求項１ないし１０のいずれかに記載の設備において、該設備では、前記遠隔端末がWianaレジスタに登録され、これにより各遠隔端末は自身の識別子により区別され、各遠隔端末は前記制御システムにおいても同一の識別子を付けられることを特徴とする設備。
【請求項１２】
請求項１ないし１１のいずれかに記載の設備において、前記遠隔端末はディスプレイおよびユーザインタフェースとしてのキーパッドを含み、前記制御システムは経路形成手段（１６）を含み、これにより算出された歩行者または車両などの移動物体の経路が前記ディスプレイに送信された地図テンプレートに表示されるように調整されることを特徴とする設備。
【請求項１３】
請求項１ないし１２のいずれかに記載の設備において、前記遠隔端末は、少なくとも、

GPRS接続、WLAN接続、WiMAX接続および／またはブルートゥース接続を実施する手段を含むことを特徴とする設備。

【請求項１４】

請求項１ないし１３のいずれかに記載の設備において、前記制御システムは、公共輸送車両の所在位置および時刻表の順守性を監視し、停留所への到着時刻を報告する手段（１３）を含むことを特徴とする設備。

【請求項１５】

請求項１ないし１４のいずれかに記載の設備において、前記制御システムは、タクシー交通を追跡し、その依頼者に最も近い空のタクシーを指示する追跡手段（１４）を含むことを特徴とする設備。

【請求項１６】

請求項１ないし１５のいずれかに記載の設備において、前記遠隔端末は、有線またはたとえばブルートゥース接続などの無線で、携帯電話機、PDA装置またはその他のモバイル装置と接続されることを特徴とする設備。

【請求項１７】

請求項１ないし１６のいずれかに記載の設備において、前記遠隔端末は、携帯電話機、PDA装置またはその他のモバイル装置であって、位置決定手段を備え、または位置決定手段と接続されて、これに対して、少なくとも、無線MESHネットワークまたはこれに相当するネットワークと接続するネットワーク機能手段（１８）が組み込まれていることを特徴とする設備。

【請求項１８】

請求項１、２または３に記載の設備において、前記遠隔端末は、据え付け位置に取り付けられて、通過する交通を監視してその数をカウントし、また検出した前記数を実質的にリアルタイムで前記制御システムに送信する手段を備えることを特徴とする設備。